

日本レーザー医学会誌 投稿規定

1. まえがき

日本レーザー医学会誌（以下、本誌）は日本レーザー医学会（以下、本学会）の機関誌として、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が構築した「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-STAGE）にて年4回公開する。また年4回のうち1回は、学術総会抄録号とし冊子体として刊行する。

2. 投稿資格

著者のうち少なくとも筆頭著者は本学会の会員であることとする。ただし、本学会が原稿を依頼する場合はこの限りではない。

3. 投稿および掲載区分

投稿論文は、以下1)～6)のいずれかの区分とし、投稿論文の内容は、他の出版物（国の内外を問わず）にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る。

- 1) 原 著：レーザー医学に関する独創性ないしは有用性のある、理論的または実証的な論考。
- 2) 総 説：レーザー医学における特定の分野に関するこれまでの知見、研究業績の総括。
- 3) 解 説：国内外に問わず開催された学会などへの参加報告、本学会員にとって役立つ新しい技術、またはアンケート調査報告など。
- 4) 症例報告：個々の患者についての症状や兆候、診断、治療、追跡調査などの報告。
- 5) 短 報：レーザー医学に関する独創性ないしは有用性のある論考、かつ速報性を重視した研究報告。
- 6) Letter to the Editor：本誌掲載論文についての質疑・応答・討論など。

4. 研究倫理

ヒトを対象とした研究を扱う論文では、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること。また、原則として所属する施設等の倫理委員会から承認を受けたこと、および各患者からインフォームド・コンセントを得たことを記載すること。動物実験を扱う論文では、所属施設の動物実験委員会の承認を受けたことを記載しなければならない。

5. 利益相反

論文投稿の際は、著者全員が「日本レーザー医学会誌投稿者のCOI申告書（様式1）」に各著者が自筆署名したものを提出すること。

6. 著作権

別途定める本学会著作権規定による。

また、論文投稿の際は、「著作権譲渡書および関連法規遵守宣言書」の内容を理解し、論文内容における関連法規に関する遵守を同書で宣言するものとし、全著者が自筆署名したものを代表著者が提出すること。この宣言における事実誤認または虚偽や過失により掲載された論文に対する訴えがあった場合、本学会および編集委員会は一切の責めを負わない。

7. 掲載料

- 1) 掲載料、査読審査料は本学会が負担する。
- 2) 別刷の費用は、著者負担とする。以下に別刷料金表を示す。

「日本レーザー医学会誌」別刷料金表

部数 頁数	50部	100部	150部	200部	250部	300部
4ページ	7,600円	9,200円	11,640円	13,440円	15,600円	17,040円
5-6ページ	9,500円	11,500円	14,550円	16,800円	19,500円	21,300円
7-8ページ	11,400円	13,800円	17,460円	20,160円	23,400円	25,560円
9-10ページ	13,300円	16,100円	20,370円	23,520円	27,300円	29,820円
11-12ページ	15,200円	18,400円	23,280円	26,880円	31,200円	34,080円
13-14ページ	17,100円	20,700円	26,190円	30,240円	35,100円	38,340円

* 税別

* 表紙付・カラー料金含む

8. 校正

校正は再校までとし、著者が行い、指定期日内に返却するものとする。校正に際しては、誤植以外の変更、削除、挿入は避けること。原稿は原則として返却しない。

9. 原稿の受付と問い合わせ

投稿原稿は、原則としてオンライン投稿システム（下記 URL）にて受け付ける。原稿データ作成の際、本文ファイルには氏名・所属・連絡先等の個人情報は含めないこと（アップロードされたファイルより自動的に査読用ファイルを作成するため）。

<オンライン投稿システム>

ScholarOne Manuscripts : <https://mc.manuscriptcentral.com/jjslsm>

<問い合わせ先>

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル 中西印刷（株）内

「日本レーザー医学会誌」編集事務局

E-mail: jjslsm-ed@nacoss.com TEL: 075-441-3155 FAX: 075-417-2050

10. 査読、採択と掲載

編集委員会は投稿論文の内容に基づき査読者を決定・依頼し、査読報告に基づき掲載の可否、原稿修正の要否を決定する。著者は編集委員会から修正を求められた場合、原則として編集委員会が提示した期限内に再投稿しなければならない。編集委員会が提示した期限後3か月を経過しても再投稿のない場合、その論文は取り下げられたものとみなす。

執筆要領

1. 原稿様式

- 1) 原稿は、和文または英文とし、A4 サイズに横書きで作成する。なお、英文はダブルスペースで作成する。
- 2) 原稿は、表紙、本文、表・図説明文、表、図、著者情報の順とする。
- 3) 表紙には、タイトル、著者名、所属機関名を和文、英文の両方で全著者名分明記し、最後に責任著者（Corresponding Author）の氏名、連絡先住所、電話/FAX 番号、mail アドレスを明記すること。
著者の所属が複数の場合は、上付きの数字を著者名の後に付す。
- 4) 本文には、タイトル（和英）、要旨（和英）、キーワード（和英）、本文、引用文献の順にまとめる。なお、投稿システムにアップロードされた本文ファイルより自動的に査読用ファイルを作成するため、本文ファイルには著者名、所属機関名等の著者を特定できる情報は含めないこと。
- 5) 原著論文は、1. 緒言（または背景）、2. 目的、3. 対象と方法、4. 結果、5. 考察、6. 結論の順序に見出しを付けること。
- 6) 要旨は、本文が和文、英文にかかわらず、200 字程度の和文と対訳英文、ならびに5 語程度のキーワード（和英）を付けること。また、英文要旨については投稿前に必ずネイティブスピーカーによる校閲を受け、投稿時には英文校閲証明書を提出すること。
- 7) 図表説明文は、英文で記載すること。
- 8) 図表は、A4 サイズに1 ページずつ作成し、それぞれに通し番号（Fig.1, Fig.2…、Table 1, Table 2…）を付ける。写真は、図として通算する。図・写真などはカラーで掲載することができ、著者による掲載料の負担はない。なお、図表は本文ファイルに含めてもよい。また、症例紹介時などの患者顔写真は、目隠しをするなど個人が特定できる資料については適切に配慮すること。
- 9) 著者情報は、顔写真及び略歴を著者全員分提出することが望ましい（任意）。
- 10) 「日本レーザー医学会誌投稿者の COI 申告書」ならびに「著作権譲渡書および関連法規遵守宣言書」は、署名済みのスキャンしたファイルを投稿システムにアップロードすること。

2. 原稿の長さ

いずれの区分も、本文、図表を含め1 編につき10 枚以内とする。和文2,750 字相当、英文1,000 語、図表6 枚を刷り1 ページに換算する。

- a. 原著、総説、解説 ……………10 ページ以内（刷り上がり）
- b. 症例報告 …………… 5 ページ以内（刷り上がり）
- c. 短報 …………… 2 ページ以内（刷り上がり）
- d. Letter to the Editor …………… 2 ページ以内（刷り上がり）

3. 用語・単位

- 1) 学術用語は日本医学会医学用語辞典（日本医学用語管理委員会編）および専門学会が選定した用語を用いること。
- 2) 論文中の度量衡は、原則として国際単位系（SI）を用いること（mm, cm, mL, dL, mg, kg など）。

4. 利益相反の開示

本文の最後（引用文献の前）に、利益相反の有無にかかわらず「利益相反」と見出しを記載し、必要事項を以下の例を参考に記載すること。利益相反のある場合は、関係した企業・団体名・具体的内容（研究費・その他の助成・競合関係など）を明記すること。

- 1) 開示すべき利益相反がない場合
【記載例】利益相反なし。
- 2) 開示すべき利益相反がある場合
【記載例】利益相反あり。本試験に関する費用は〇〇株式会社が負担した。

5. 引用文献

引用文献は、本文中の引用箇所に引用順に上付きの算用数字で番号を付け、本文末尾に番号順に列挙する（バンクオーバー方式）。文献の書誌情報の記載は、以下の記載例を参考にすること。雑誌の略誌名は List of Journals Indexed for MEDLINE (<http://www.nlm.nih.gov/archive/20130415/tsd/serials/lji.html>) に準じて記載し、これに掲載されていないものは雑誌名を省略せずに記載すること。

1. 原著

著者名. 表題. 雑誌名. 出版年; 巻: 開始ページ-終了ページ. (著者名は省略せずに全著者名記載すること.)

- 1) 小澤 俊幸, 森本 訓行, 鶴田 大輔, 栗津 邦男. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌に対する光線力学療法. 日レ医誌. 2015; 35: 403-407.
- 2) Kono T, Chan HH, Groff WF, Manstein D, Sakurai H, Takeuchi M, Yamaki T, Soejima K, Nozaki M. Prospective direct comparison study of fractional resurfacing using different fluences and densities for skin rejuvenation in Asians. Lasers Surg Med. 2007; 39: 311-314.

2. 書籍

- 1) 栗津 邦男. 赤外レーザー医工学. 第2章 赤外レーザーと生体の相互作用. 大阪: 大阪大学出版会; 2008. p. 27-51.
- 2) Kushibiki T. Laser-tissue interaction. Awazu K. (ed.) Laser Technology for Medical Applications. the Netherlands: Elsevier Science; 2007. p. 377-384.

3. インターネット上の資料や情報

公開元, 資料の名称, 参照年月日 (最終アクセス日付), URL や doiなどを記載する。

- 1) 小澤 俊幸. 大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学, 光線力学療法 (PDT) による感染症治療の研究. (参照 2018 年 1 月 10 日), <http://www.med.osaka-cu.ac.jp/Derma/report/reports-04.shtm>.

附則

1. 本規定の実施に関して必要となる細則については、それぞれ関連の規定類中で定めるものとする。
2. 本規定の改正は、本学会編集委員会の承認を受けるものとする。
3. 本規定は、平成 20 年 11 月 14 日、理事会において承認制定。
4. 平成 21 年 3 月 1 日、別刷り料金表を改定。
5. 平成 24 年 4 月 3 日、「10. 投稿論文要項」を改定。
6. 平成 24 年 11 月 9 日、「7. 原稿作成上の注意、執筆要領 利益相反の開示」を改定。
7. 平成 27 年 1 月 1 日、「7. 原稿作成上の注意、執筆要領 図および表、引用文献記載法」を改定。
8. 平成 28 年 4 月 1 日、「3. 研究倫理、8. 原稿作成上の注意、執筆要領 図および表」を改定。
9. 平成 29 年 12 月 8 日、改定。
10. 平成 31 年 3 月 5 日、改定。
11. 令和 2 年 9 月 30 日、「3. 投稿および掲載区分」、その他一部を改定。